

令和 5 年度生徒指導基幹研修 実施要項

1 目 的

いじめ、暴力行為、自殺、不登校などは依然として学校教育推進上の大きな課題となっている。また、生徒指導提要改訂を受け、学校や教育委員会等による、児童生徒の問題行動等の未然防止、早期発見・早期解決の推進が一層求められており、学校の組織基盤を強化する必要がある。

本研修では、学校や当該地域において指導的な役割を果たすべく、生徒指導に関する諸課題について検討・分析するとともに、学校内外の資源をマネジメントした組織的な生徒指導体制を構築するための手法等の習得を図る。さらに、本研修後の実践を通して、1) 生徒指導に関する諸課題の改善に専門的知見を活用し、組織的な取組を推進する力、2) 学校や当該地域において教職員の専門性向上を推進する力、を育成する。

2 主 催 独立行政法人教職員支援機構

3 共 催 文部科学省

4 期 間

受講者は、令和 5 年 8 月 1 日（火）から令和 5 年 8 月 3 1 日（木）までの期間中、任意の 3 日間を選択して受講する。

5 実施方法 学習管理システムを用いたオンライン研修

6 配信元 独立行政法人教職員支援機構 事業部事業企画課
〒305-0802 茨城県つくば市立原 3 番地

7 標準定員 200 名

※標準定員は設定しているが、推薦人数に上限は設けない。

8 受講者

(1) 受講資格

- ① 都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者
- ② 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭等であり、各学校や当該地域において本研修の内容を踏まえて指導的な役割（研修の企画・立案・実施・評価等を含む）を果たす者
- ③ 当機構の修了証書をもって単位認定を行う（予定を含む）教職大学院の学生

※ 「第 5 次男女共同参画基本計画」（令和 2 年 1 2 月 2 5 日閣議決定）を踏まえ、本研修における女性教職員の割合を 10%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について配慮すること。

(2) 推薦人数

都道府県・指定都市・中核市等ごとの推薦人数に、制限は設けない。

(3) 推薦手続

推薦期限は、令和5年6月19日(月)とする。

各都道府県・指定都市教育委員会、都道府県知事部局、国公立大学法人、独立行政法人国立青少年教育振興機構及び教職大学院を置く各大学においては、「研修システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修システム」により推薦を行う。

(4) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。

9 研修内容

別紙1「日程表」のとおりとし、受講者は研修終了後に「課題レポート」を提出する。なお、様式、提出方法等については、受講決定時に別途連絡する。

10 事前課題

(1) 研修成果活用計画書の作成

受講者および所属長は事前に「研修成果活用計画書」を作成し、提出すること。なお、様式、提出方法等については、受講者決定時に別途連絡する。

(2) その他の事前課題

その他の事前課題がある場合は、受講者決定時に別途連絡する。

11 研修成果の活用

本研修は、受講者の研修成果を各学校や当該地域で活用することを前提としている。そのため、研修終了後1年程度の期間を経た後に、研修成果の活用状況(研修企画、研修講師、他校訪問等)についてのアンケート調査を実施する。推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

12 その他

(1) すべての講義を受講し、「研修計画書」を提出した受講者には、修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。

(2) 本研修は、学習管理システム「学びばこ」(株)テクノカルチャー)を用いて研修を配信するものである。なお、「学びばこ」は専用のソフトウェアやアプリケーションをダウンロードする必要がなく、対応するブラウザであればスマートフォン等の端末からも受講可能である。

(3) システム上は時間・場所を問わずに視聴可能であるが、受講者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な受講環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。

(4) 本研修の受講に際し、特別な配慮が必要な者(障害、持病等)を推薦する場合には、事前に当機構に相談すること。

令和5年度 生徒指導基幹研修

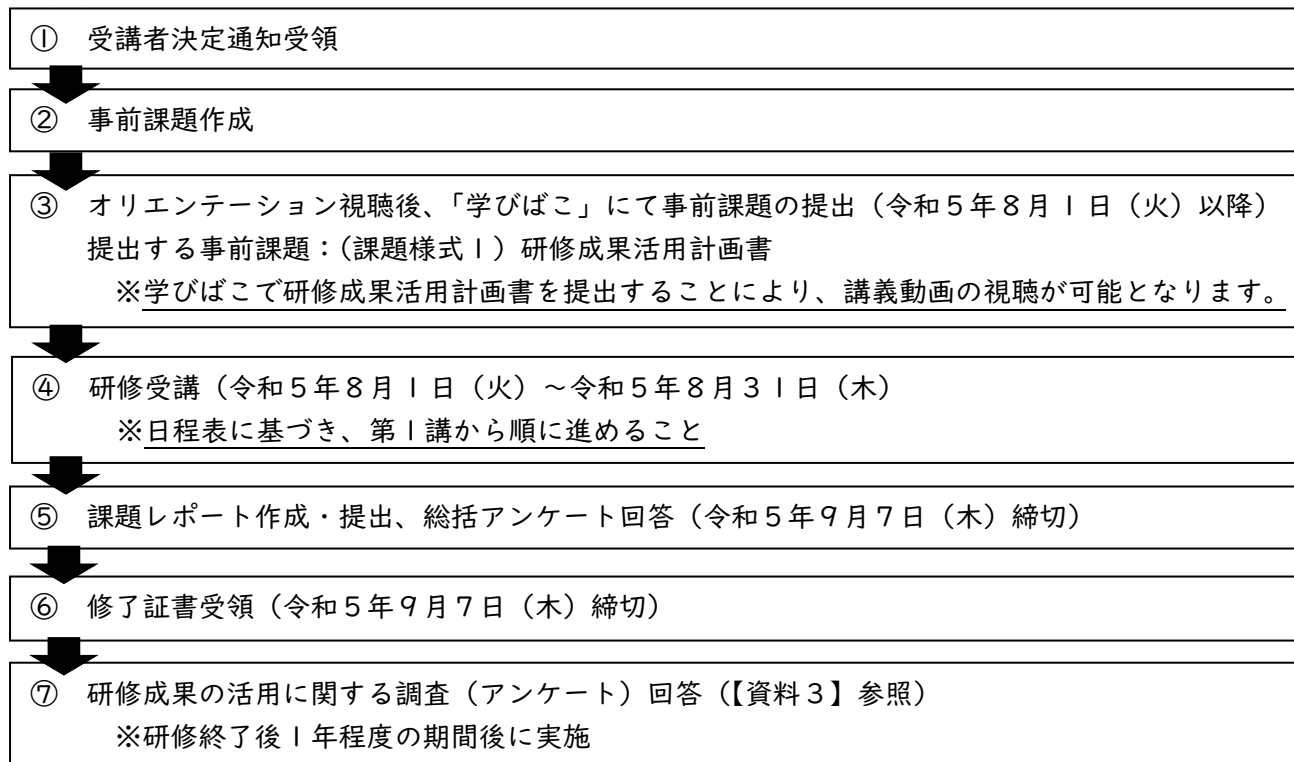
		9:00												16:00				
1 日 目	開 講 に あ た っ て	第1講 講義・演習		生徒指導に関する現状と課題 (50分)	リフレクション (25分)	第2講 講義・演習		生徒指導の基本的方向性 (50分)	リフレクション (25分)	昼 休 憩	第3講 講義・演習				生徒指導の基礎 (90分)	リフレクション (60分)		
		文部科学省 文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒 指導室長 仲村 健二 先生				生徒指導提要改定のねらい 重要なポイント等について (関係機関との連携・協働、法規) 国立教育政策研究所生徒指導・ 進路指導研究センター 総括研究官 宮古紀宏 先生					提要1部の1章および2章の内容 いじめや問題行動が起きない温かい学校、学級づくり等(発達支持的、プロアクティブ) 愛媛大学 名誉教授 平松 義樹先生							
2 日 目		第4講 講義・演習		法の理解に基づく生徒指導 (50分)	リフレクション (25分)	第5講 講義・演習		チーム学校としての生徒指導体制 (50分)	リフレクション (25分)	昼 休 憩	第6講 講義・演習		暴力行為の理解と対応 (50分)	リフレクション (25分)	第7講 講義・演習		少年非行の理解と対応 (50分)	リフレクション (25分)
		関連する法令等は第1講、第2講の講義で 取り扱い、このコマでは事例中心とする 銀座第一法律事務所 弁護士 戸田 恵蔵先生				提要第1部第3章の内容をもとに、SC、SW、関係機関と の具体的な連携・協働に関する事例を取り扱う 国立教育政策研究所生徒指導・ 進路指導研究センター 総括研究官 宮古紀宏 先生					第3講 生徒指導の基礎を学んだ後、暴力行為を 中心として、事前・事後等の対応について 検討等を行う 法務省大臣官房サイバーセキュリティ・情報化 審議官 押切 久遠 先生				第3講 生徒指導の基礎を学んだ後、少年非行を 中心として、事前・事後等の対応について 検討等を行う 東京女子体育大学 特任教授 梅澤 秀監先生			
3 日 目		第8講 講義・演習				学校危機と向き合う生徒指導 (90分)	リフレクション (60分)	第9講 講義・演習				事例研究の意義と方法 (50分)	リフレクション (25分)	第10講 講義・演習		研修成果の活用 (75分)	開 講 に あ た っ て	
		～リスクマネジメント～ (45分)		～クライシスマネジメント～ (45分)				生徒指導のための教職員の研修について 日本教育カウンセラー協会 理事 藤川 章先生						教職員支援機構				
		第3講 生徒指導の基礎を学んだ後、自殺を中心として、 リスクマネジメント・クライシスマネジメントに関する講義を行う 関西外国語大学 教授 新井 肇先生																

※「リフレクション」とは、講義内容について、自身の教育実践を振り返りつつ理解を深める、個人演習の時間です。
※午前・午後ともに、講義・演習とリフレクションで150分で構成しています。適宜、休憩を入れながら受講してください。

令和5年度生徒指導基幹研修 受講に当たっての留意事項

1 研修受講の流れ

(1) 流れについて



(2) 受講状況の確認について

令和5年8月18日（金）以降、全受講者に対して確認メールを送信します。
併せて未受講の講義がある受講者の情報については、推薦者に共有します。
（受講状況は随時「学びばこ」上で確認できます。）

2 事前課題について

【資料3】参照

3 受講期間等について

(1) 受講期間

令和5年8月1日（火）～8月31日（木）の期間中、任意で選択した3日間

※受講期間は連続した3日間でも問題ございません。なお、アクセスの集中や回線トラブル等で受講がスムーズにできない場合に備え、期日に余裕を持った受講を推奨します。

※研修受講期間外（7月）は「学びばこ」にログインはできませんので御留意ください。

(2) 受講環境

インターネットに接続できる端末(パソコン、タブレット、スマートフォン)を用意してください。

(3) 使用するシステム

本研修は、学習管理システム「学びばこ」を使用します。

- ・「学びばこ」利用マニュアル：当機構 Web ページに掲載しています。

必ず一読のうえ、受講いただくようお願いします。

- ・ログイン ID、パスワード：「【資料5】「学びばこ」受講者用 ID・パスワード」を参照
- ・「学びばこ」ログイン用ページ：受講期間初日から当機構 Web ページよりログインできます。

「学びばこ」利用マニュアル・ログイン用ページ

<https://www.nits.go.jp/training/relevantdata/elearning.html>

当機構 Web ページ TOP > 研修・セミナー > NITS オンライン研修 受講用ページ

(4) 受講方法

1. (3) に記載の URL からログイン用ページへアクセスし、「学びばこ」にログインする。

※ログイン時、画面上部に受講予定の研修名が表示されているか御確認ください。

2. 「講義動画」の箱から、「開講に当たって」よりオリエンテーション動画を視聴する。

3. 事前課題「(課題様式1) 研修成果活用計画書」を提出する。

※学びばこ上で事前課題を提出することにより、講義動画の視聴が可能となります。

4. オリエンテーション内の説明に従って、順次研修を受講する。

5. 「アンケート・課題レポート」の箱から、下記のアンケート及びレポートに回答する。

(各講義終了後) 講義アンケート

(全講義終了後) 課題レポート・総括アンケート

6. **必ず**修了証書をダウンロードする。

(5) 事前課題提出、動画の視聴、講義資料の閲覧およびダウンロード可能期間

令和5年8月1日(火)～8月31日(木)

※視聴、閲覧およびダウンロード可能期間を過ぎると、動画の視聴、講義資料の閲覧およびダウンロードはできません。

※一度受講した講義の再視聴は、視聴可能期間中であれば下記の日時以外いつでも可能です。

※毎週日曜日 23:00～24:00 はシステムメンテナンスのため視聴できません。

4 講義資料、活用許諾等について

(1) 講義資料の配付方法

電子データを「学びばこ」に掲載します。

(2) 講義資料の著作権と活用許諾について

資料活用の許諾の有無、範囲は、各講義資料の表紙に明示します。

(3) 講義の録音・撮影について

著作権及び肖像権の都合上、講義の録音・撮影は禁止します。

5 課題レポート・総括アンケート

【資料3】参照

6 修了証書発行について

(1) 発行期間

令和5年9月7日(木)まで(期限厳守)

※上記の日時以降、修了証書発行については御対応いたしかねますので御留意ください。

※本研修の修了証書は下記4点が確認できた受講者に対して発行します。

- ・事前課題「(課題様式1) 研修成果活用計画書」の提出
- ・全講義の受講終了
- ・課題レポートの提出
- ・総括アンケートの回答

(2) ダウンロード方法

「学びばこ」利用マニュアル p.18 「10.修了証書を発行する」参照

7 緊急時の連絡について

(1) 教職員支援機構から連絡する場合

緊急時の連絡(システムトラブル等により研修開始が遅れる場合等)がある場合は、「学びばこ」ログイン後のページ上部に「お知らせ」として掲示します。また、受講推薦時に登録されたメールアドレス宛てに配信します。

(2) 受講者から連絡する場合

やむをえず研修の受講を中止する場合は、推薦者を通じて下記問合せ先へ連絡してください。

8 その他

(1) 氏名の確認等について

【資料5】に記載されている氏名、情報等を必ず御確認ください。誤り・訂正がある場合は、下記問合せ先までお知らせください。

また、メールアドレスが未登録の場合や誤りがある場合、「学びばこ」で登録・変更を行ってください。(「学びばこ」利用マニュアル2. 参照)

(2) メールを受信設定について

迷惑メールのフィルタリング等の設定を行っている場合は、「@ml(エムエル).nits.go.jp」および「@nits.go.jp」のドメインからのメールを受信できるよう設定してください。

(3) 追加の連絡について

追加連絡等がある場合は、学びばこログイン後のページ上部に「お知らせ」として掲示します。定期的に御確認いただくようお願いいたします。

問合せ先

独立行政法人教職員支援機構(坂上、石塚)
TEL: 029-879-6647, 6638 (平日 8:30~17:15)
FAX: 029-879-6645 Email: kk2@ml.nits.go.jp

**令和5年度生徒指導基幹研修
取組・課題等について**

I 取組等一覧

講義動画視聴前	
研修成果活用計画書 (課題様式1)	<input type="checkbox"/> 「学びばこ」上でオリエンテーション動画の視聴後に表示される「課題提出」の箱から提出する ※詳細は「2 (課題様式1) 研修成果活用計画書について」参照
※提出方法は「学びばこ」利用マニュアル p.12 「5.課題様式をダウンロードする」「6.課題を提出する」参照 不備がある場合は、推薦元を通じて連絡します。	

研修中・研修後	
講義アンケート	<u>【回答時期：各講義終了後】</u> <input type="checkbox"/> リフレクションの時間等で回答する
課題レポート 総括アンケート	<u>【回答時期：全講義終了後～令和5年9月7日(木)】</u> <input type="checkbox"/> 課題レポートは、1,200字以上1,500字以内で入力する <input type="checkbox"/> 課題レポート回答後、総括アンケートに回答する ※「閉講にあたって」で作成のポイント等を解説します。
※講義アンケート・課題レポート・総括アンケートは「学びばこ」から回答してください。	

研修終了後から約1年後	
研修成果の活用に関する調査 (アンケート回答)	<u>【回答期限：令和7年1月】</u> <input type="checkbox"/> 研修成果の活用内容、方法に関するアンケートに回答
※回答方法は回答期日前に別途案内します。また、回答受付は令和6年11月下旬の予定です。 「学びばこ」とは異なる、当機構のシステム(研修システム)にて回答していただきます。	

※課題様式1等の各様式(Wordファイル等)は、当機構Webページからダウンロードしてください。

当機構Webページ：<https://www.nits.go.jp/training/102/003.html>

(TOPページ>研修・セミナー>生徒指導基幹研修>(ページ下部)ダウンロードデータ)

2 (課題様式1) 研修成果活用計画書について

本研修は、研修後の成果活用を通して、1)生徒指導に関する諸課題の改善に専門的知識を活用し、組織的な取組を推進する力、2)各学校等や当該地域において教職員の専門性向上を推進する力、の育成を目的としています。

本研修の趣旨を踏まえ、各地域や学校において研修成果を活用するために、事前に「研修成果活用計画書(課題様式1)」を作成してください。

提出方法等については、次ページを御参照ください。

- ・提出可能日：令和5年8月1日（火）～8月31日（木）
- ・提出方法：受講者が各自「学びばこ」上で提出する（PDFでパスワードをつけずに提出）
- ・提出時のファイル名：「受講者番号（半角5桁）_氏名」とすること。（例：00001_筑波未来）
※受講者番号の前に0を付し、5桁としてください。

3 リフレクションについて

日程表【資料1】に記載のとおり、各講義終了後に「リフレクション」の時間を設けています。この時間は、講義を通じて学んだ内容を振り返り、自分の実践や今後の学校改善と関連づけて学びを整理する時間です。なお、講師から取り組む内容について指示がある場合があります。その際には、指示された内容に取り組んでください。

メールマガジン



NITSニュース

01

教育動向 を知る

大学教授等によるコラムを掲載中

02

動画 で学ぶ

校内研修でも活用できる！

「校内研修シリーズ」「実践力向上シリーズ」等をご紹介

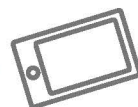
03

NITSの今 がわかる

NITS大賞や調査研究等、最新情報をお届け！



登録方法のご案内



HPにアクセス

スマホをかざして



下記のURLからでも！

登録フォームへ

新規登録方法より

▶ 「NITSニュース」
登録フォーム

ページ中部にあります！

情報の入力

- メールアドレス
- パスワード
- お名前

など

登録

独立行政法人教職員支援機構

メールマガジン「NITSニュース」

【URL】 <https://www.nits.go.jp/service/magazine/>

